

第12回 MI-TECH横浜祭レポート

★日本に広がれ! カーボンオフセット学園祭

平成20年度MI-TECH横浜祭運営委員会 会長 石原 碧 (環境情報学科3年)

平成20年5月31日(土)・6月1日(日)、横浜キャンパスにおいて第12回MI-TECH横浜祭が開催されました。「No Wall」をテーマに、日本の学園祭史上初の試み「カーボンオフセット」も実施されました。

今年度、私たちY.F.A.は「武蔵工大とお客さまを意識した学園祭を創る」という活動方針の下、1年間活動してまいりました。MI-TECH横浜祭は今年で12回目を数え、テーマとして「No Wall」を掲げました。「No Wall」の言葉には、横浜祭を訪れてくださったお客さまの世代・性別・国籍の壁を超え、全ての方々に楽しんでいただきたいという願いをこめました。また、これまで先輩方が努力を重ね、作り上げてきた過去11回の横浜祭を超えていこうという気持ちもこめています。

今年は残念ながら土曜日は、雨や低温の中開催いたしました。しかし、日曜日はずっとかわって晴天に恵まれ、青空の下横浜祭を開催することが出来ました。1日目が雨だったにも関わらず、今年も8,575人という非常に多くのお客さまにご来場いただくことができたのは、横浜祭が地域に根付いてきた表れだと思います。

学園祭の内容と致しましては、日本の学園祭で初めて「カーボンオフセット」を実施いたしました。カーボンオフセットとは、

学園祭開催におけるCO2排出量を計算し、それを相殺するだけの木を植えるというものです。NPO法人の方々や、大学の方々のご協力もあり、日本の学園祭という枠組みでも新たな1歩を踏み出すことが出来たと思います。

最後になりましたが、第12回横浜祭を開催するにあたり、ご協力いただきました教職員の方々、家族、多くの関係者の皆様に、スタッフ一同この場を借りて厚く御礼申し上げます。

企画内容

5/31(土)

- 開祭式 ●クイズ+ゲーム ●音楽LIVE ●ピンゴ
- 研究室企画・展示 ●講演会 ●クラブ発表・展示
- 進学相談会 ●プラネタリウム ●和太鼓 ●模擬店

6/1(日)

- 演奏会(吹奏楽団) ●クイズ+ゲーム ●研究室発表・展示
- クラブ発表・展示 ●音楽LIVE ●お笑いライブ
- ストリートパフォーマンス ●学生プロレス ●フリーマーケット ●演武会 ●模擬店 ●閉祭式

